



衆議院議員

このチラシを周囲に
お配りいただける方募集中!

きいたかし

城井 崇 レポート 2018.4

きいたかし後援会事務所
〒802-0072 福岡県北九州市
小倉北区東篠崎1-4-1-201
TEL. 093-941-7767
FAX. 093-941-5535
メール smile@kiitaka.net
きいたかしウェブサイト
http://www.kiitaka.net

通常国会の活動報告

衆議院文部科学委員会理事、科学技術特別委員会委員として活動中

👉 きいたかし が衆予算委質疑で早期実現を要望しました

地元・北九州市の要望した予算を獲得!

衆議院予算委員会で質疑。地元・北九州市からの要望である、北九州空港の機能拡充・利用促進、北九州港廃棄物海面処分場の整備促進、都市のコンパクト化支援（小倉都心地区、小倉駅南口東地区、城野駅南地区など）、北九州市内の主要幹線道路（国道199号線砂津バイパス、恒見朽網線、湯川飛行場線、日明渡船場線、都市計画道路砂津長浜線など）の整備推進、関門航路及び北九州港の整備促進や、民有地のがけ崩れ復旧補助の拡大を望む地元の声を直接届けることができました。質疑が実り、箇所付けで多くの予算を獲得。国土交通大臣や国土交通省の答弁を精査してさらに取り組みを強めます。



●2/23 衆予算委員会第八分科会

きいたかしの要望により獲得した北九州市に関連する予算の一例（平成30年度箇所表から抜粋）

北九州港	(1,500百万円)	北九州市公共下水道事業「水めぐる」住みよいまち「をめぐらして」(防災・安全)	(1,703,790千円)
関門航路	(3,288百万円)	北九州市公共下水道事業「水めぐる」住みよいまち「をめぐらして」(防災・安全)(重点計画)	(1,260,000千円)
北九州空港	(297百万円)	北九州市公共下水道事業「水めぐる」住みよいまち「をめぐらして」(防災・安全)(地震対策、重点計画)	(183,000千円)
国道3号・黒崎バイパス	(2,384百万円)	北九州市公共下水道事業「水めぐる」住みよいまち「をめぐらして」	(1,303,210千円)
国道10号・横代交差点改良	(9百万円)	北九州市に身近に自然を感じる河川環境整備の推進	(3,000千円)
小倉地方合同庁舎	(912百万円)	北九州市における憩いと賑わいに資する緑と公園づくりの推進	(157,280千円)
通学児童等の安全・安心を確保するための道づくり	(1,642,635千円)	北九州市における緑と保全とストック効果を高める公園づくりの推進	(223,700千円)
防災に強いまちづくり	(1,471,273千円)	北九州市宅地耐震化推進事業	(9,100千円)
市民がより安全で安心できる道づくり	(849,919千円)	北九州市大里地区地域居住機能再生推進事業	(90,326千円)
北九州港における安全で利用しやすい港づくり(防災・安全)	(139,300千円)	北九州市における都市公園の整備による防災機能の向上(防災・安全)	(206,000千円)
北九州港海岸における海岸保全施設整備の推進(防災・安全)	(35,500千円)	北九州市における都市公園の整備による安全・安心の向上(防災・安全)	(51,000千円)
北九州港における安全で活用しやすい港づくり(地域活性化)	(85,000千円)	小倉都心地区(第3期)都市再生整備計画	(203,900千円)
市民の安全と安心を守る流域と一体となった浸水対策の推進(防災・安全)	(439,000千円)	北九州市における安全・安心な住宅・住環境の整備(防災・安全)(第2期)	(652,703千円)
北九州市小倉都市部における浸水対策の推進	(110,000千円)	小倉駅周辺の都市機能の更新とにぎわいのあるまちづくり	(250,000千円)
北部九州のものづくり産業の成長を支える高速道路IC及び空港・港湾等へ物流ネットワーク強化を図る道路整備	(3,091,754千円)	小倉駅周辺の都市機能の更新とにぎわいのあるまちづくり	(611,733千円)
物流拠点間のアクセス強化による地域の産業活動を支える道路整備	(452,526千円)	小倉駅南口地区防災省エネまちづくり緊急促進事業	(200,872千円)
階層拠点と交通網ストックを活かしたコンパクトな都市構造の形成	(1,800千円)		

きいたかしが座長として野党6党の追及を取りまとめました

教育現場への不当な介入はあってはならない



●3/16 FNN ニュースより

文部科学省による教育現場への介入の問題、野党6党ヒアリングを開催、座長を務めました。何がきっかけで（誰から言われて）大臣など政務三役の指示なく個別の学校の授業内容や講師の言動の調査に走ったのか。異例の調査の法的根拠は何か。確認すべきことは多くあります。教育現場への国家権力の介入はあってはならない、というのが我が国の基本中の基本です。私が文部科学大臣政務官だった時も含め、文部科学省は教育現場への介入には極めて抑制的だったのに何でこういう介入に走ったか、冷静に確かめ、委員会質疑で再発防止にくぎを刺しました。

きいたかしが提出した質問主意書で新事実が発覚しました

公用電子メール自動廃棄の実態を明らかに

公用電子メールの廃棄について、質問主意書を提出。省庁が自動廃棄していた問題を質しました。質問前までは、財務省と国土交通省だけしかメールの自動廃棄が明らかになっていませんでしたが、なんとその他にも検察庁、国税庁、厚生労働省、防衛省で自動廃棄されている事実が明らかになりました。事後の政策検証のためには行政文書として全メールを保存すべきです。テレビや新聞各紙でも大きく報じられました。

5省庁メール自動削除
公文書管理 財務 防衛 国税は「継続」

省庁	廃止	対応
財務省	送受信から60日たったメールをサーバーから自動削除 (2009年1月~)	今後も継続
国土交通省	受信から6か月たった開封済メールをサーバーから自動削除 (09年7月~)	検討中
防衛省	一部の公用機で、①暗号化された通信を利用し、送受信から60日たったメールを自動削除 (15年3月~)	今後も継続
国税庁	ネットに接続したシステムで送受信から68日たったメールをサーバーから自動削除 (18年12月~)	同上
検察庁	送受信から2か月たったメールをサーバーから自動削除 (07年4月~)	検討中

各省庁の公用電子メールの取り扱いは、送受信から60日たったメールをサーバーから自動削除 (2009年1月~) である。財務省は、希望の党の野党6党に、財務、防衛、国土交通省の公用電子メールの自動廃棄について、質問主意書を提出した。これに対し、財務省は「検察庁、国税庁、厚生労働省、防衛省で自動廃棄されている事実が明らかになりました。事後の政策検証のためには行政文書として全メールを保存すべきです。テレビや新聞各紙でも大きく報じられました。」と答えた。また、財務省は「検察庁、国税庁、厚生労働省、防衛省で自動廃棄されている事実が明らかになりました。事後の政策検証のためには行政文書として全メールを保存すべきです。テレビや新聞各紙でも大きく報じられました。」と答えた。

●2/3 付読売新聞より

きいたかし 8年ぶりの質疑の機会に感謝!

貸与型奨学金の返済方法の改善が必要だ



●3/30 衆文部科学委員会で質疑

文部科学大臣政務官時代の答弁を除くと、ほぼ8年ぶりの文部科学委員会質疑。教育現場不当介入問題、貸与型奨学金を返済中の方の返済方法の改善、大学の基礎的な研究費確保、大学入試新テストの英語の民間試験の受験機会の公平性、費用負担の心配、教育機会確保法に基づく「休養の必要性」と発達障害・虐待の発見遅れの懸念などを文部科学大臣に直接質しました。



衆議院議員 **きいたかし** (城井 崇) 44歳のプロフィール

地元北九州で東奔西走。1男2女のパパとしても子育て奮闘中。

1973年(昭和48年)北九州市門司区生まれ。田野浦小、早鞆中、門司高、北九州予備校(2浪)、京都大学卒。松下政経塾、前原誠司代議士秘書等を経て、03年衆院選で初当選。09、17年衆院選で当選(現在3期目)。文部科学大臣政務官、衆院予算委理事、事業仕分け第3弾仕分け人等を歴任。現在、衆院文部科学委理事、科学技術イノベーション特委員。得意分野:教育、科学技術、安全保障、行政改革。好きな食べ物:ラーメン。